

近江国あふみのくにより上り来るのぼる時に、刑部垂麻呂おさかへのたりまろの作る歌

一首

二六三番

馬うまないたく 打ちうちてな行きゆそ 日け並ならべて 見みても
我わが行ゆく 志賀しがにあらなくに

柿本朝臣人麻呂かきのもとのおそみひとまろ、近江国あふみのくにより上り来るのぼる時に、

宇治河うぢがはの辺へに至りて作る歌一首

二六四番

ものもののふの 八十宇治川やそうちかはの 網代木あじろぎに いさよふ
波なみの 行ゆくへ知しらずも

長忌寸奥麻呂ながのいみきおきまろの歌一首

二六五番

苦くるしくも 降ふり来る雨あめか 三輪みわの崎さき 狭野さのの渡わたり
に 家いへもあらなくに